

PPP/PFI 導入評価会議結果

県庁舎再整備事業

事業目的	築60年を迎えた県庁舎について、防災拠点として必要な耐震性能の不足や建物の老朽化などの課題に対応する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設整備に係る設計、施工、工事監理、その他付随する調査等</li><li>・ 庁舎の維持管理業務（保守点検、清掃、修繕等）</li></ul>
評価会議開催日	令和8年3月25日
検討区分	一次評価（簡易検討）
検討結果	PFI手法の導入可能性を検討することが適当であり、二次評価への移行を行う。
上記の理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 定量評価（簡易算定）において、VFM効果が9.7%であったこと。</li><li>・ 導入判断に際しては、専門的な見地からより精緻なVFMの算定結果を得ることが肝要であり、導入可能性調査を行うことが適当であること。</li></ul> <p>以上を総合的に勘案し、「PFI手法の導入可能性を検討することが適当であり、二次評価への移行を行う」という検討結果とする。</p>